

## 志 摩 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- |                            |                 |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
|----------------------------|-----------------|---|-----|-------|------|-------|---------|------|------------------|------|--------|-------|---------------|-------|-----------|-------|----------------------------|-------|-------------------|-------|--|
| 1.                         | 会 議 の 種 類       | 令和6年第8回定例会  |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 招 集 年 月 日       | 令和6年8月13日(火)  |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 開 催 年 月 日       | 令和6年8月20日(火)  |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 開 催 場 所         | 志摩市役所405会議室   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 招 集 を し た 者     | 舟戸 宏一   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 委 員 数           | 4名  |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 出 席 委 員         | 山下 行重・坂中 小百合・柴原 千峰・茶呑 潤造  |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 欠 席 委 員         |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 会 議 に 出 席 し た 者 | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">教育長</td> <td>舟戸 宏一</td> </tr> <tr> <td>教育部長</td> <td>井上 辻明</td> </tr> <tr> <td>教育総務課課長</td> <td>前田 悟</td> </tr> <tr> <td>給食統括監兼学校給食センター所長</td> <td>阿部 亨</td> </tr> <tr> <td>学校教育課長</td> <td>金光 孝裕</td> </tr> <tr> <td>学校教育課副参事兼管理主事</td> <td>村井 浩志</td> </tr> <tr> <td>総合教育センター長</td> <td>岩城 一博</td> </tr> <tr> <td>生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長兼歴史民俗資料館長</td> <td>前田 和久</td> </tr> <tr> <td>文化振興監兼大王美術ギャラリー担当</td> <td>天白 りか</td> </tr> </table> | 教育長 | 舟戸 宏一 | 教育部長 | 井上 辻明 | 教育総務課課長 | 前田 悟 | 給食統括監兼学校給食センター所長 | 阿部 亨 | 学校教育課長 | 金光 孝裕 | 学校教育課副参事兼管理主事 | 村井 浩志 | 総合教育センター長 | 岩城 一博 | 生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長兼歴史民俗資料館長 | 前田 和久 | 文化振興監兼大王美術ギャラリー担当 | 天白 りか |  |
| 教育長                        | 舟戸 宏一           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 教育部長                       | 井上 辻明           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 教育総務課課長                    | 前田 悟            |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 給食統括監兼学校給食センター所長           | 阿部 亨            |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 学校教育課長                     | 金光 孝裕           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 学校教育課副参事兼管理主事              | 村井 浩志           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 総合教育センター長                  | 岩城 一博           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長兼歴史民俗資料館長 | 前田 和久           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 文化振興監兼大王美術ギャラリー担当          | 天白 りか           |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 傍 聴 人           | 0名  |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |
| 1.                         | 事 項             |   |     |       |      |       |         |      |                  |      |        |       |               |       |           |       |                            |       |                   |       |  |

開 会      開会時間 午前 10 時 00 分

日程第 1   会議録署名委員の指名 2 番 坂中委員

日程第 2   教育長報告

日程第 3   議案第 41 号   令和 6 年度 9 月補正予算（案）について

日程第 4   報告第 36 号   令和 6 年度第 1 回志摩市学校給食センター運営委員会会議について

日程第 5   報告第 37 号   令和 6 年度第 1 回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート調査結果

日程第 6   報告第 38 号   令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について

日程第 7   その他協議・報告案件について

① 各課からの報告

② その他

閉 会      閉会時間 午前 10 時 51 分

教育長	おはようございます。定刻となりましたので、ただいまより、令和6年第8回定例教育委員会を開会します。 事項書の日程に従いまして、進めさせていただきます。
<b>日程第1</b>	<b>会議録署名委員の指名</b>
教育長	日程第1、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は2番坂中委員を指名します。よろしくお願ひします。
委員	よろしくお願ひします。
<b>日程第2</b>	<b>教育長報告</b>
教育長	日程第2、教育長報告についてお手元に配付のとおりでございますが、教育長報告について質疑はございませんか。
委員	(挙手)
教育長	委員。
委員	7月30日に第1回伊勢志摩地域高校活性化協議会が開催されていますが、内容でできる範囲で教えていただきたいと思ひます。
教育長	今年度初めての会議でしたので、今年度の体制をつくり、伊勢市内の高校を今後どのようにしていくかという部分で様々な意見を交換しました。宇治山田高校・伊勢高校のあり方、職業高校としての宇治山田商業高校、伊勢工業高校、明野高校のあり方を様々な角度から意見交換をし、今後どうしていくのかなどを考えていきたいと思いますということが中心になりました。さらに志摩高校、度会高校、鳥羽高校のことは引き続き論議していきましょうということや、水産高校については県内唯一の水産高校であるということで残す方向でということですが、引き続き定数確保に努めましょうという話し合いがなされ、継続審議ということになりました。 他、いかがでしょうか。
各委員	(質疑なし)
教育長	ないようでしたら、教育長報告については以上で次へ進めたいと思ひます。
<b>日程第3</b>	<b>議案第41号 令和6年度9月補正予算(案)について</b>

教育長	<p>日程第3、議案第41号 令和6年度9月補正予算(案)についてを議題とします。本案について、事務局から説明を求めます。質疑は各課説明後、一括して求めたいと思いますのでご了解ください。</p> <p>事務局。</p>
事務局	<p>学校教育課です。よろしくお願いいたします。議案第41号、令和6年度9月補正予算(案)について説明します。学校教育課ですが、資料は3ページになります。まず、歳出について説明させていただきます。浜島小学校スクールバスの定期点検で経年劣化による部品交換が必要であることが判明しました。車体・車高を保持するための部品であり、走行不能となる前に車両の安全運行の視点から早急に部品交換が必要であるため、スクールバス運行管理事業としまして、326千円の増額をさせていただきます。学校教育課としましては以上の補正予算を報告させていただきます。以上です。</p>
教育長	<p>事務局。</p>
事務局	<p>文化振興監です。よろしくお願いいたします。生涯学習スポーツ課の文化財保護費の補正予算についてご説明いたします。今回の補正につきましては、今年度より再開いたしました、志島・畔名古墳群調査検討委員会委員の報償費及び旅費の増額です。6月17日に第1回委員会が開催され、古墳群より出土されました遺物を実際に見ていただいたところ、復元するにあたり高度な技術が必要になるため、委員である国学院大学の青木教授、国立歴史民俗博物館上野准教授より技術指導のご協力いただけることになりました。つきましては、東京から志摩市までの旅費及び報償費計5回分の260千円を補正計上させていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>事務局。</p>
事務局	<p>生涯学習スポーツ課です。まず阿児アリーナ管理運営費として、令和7年秋に開催予定の第44回全国豊かな海づくり大会の式典会場としてアリーナ敷地内の舗装整備、オーシャンホール及びベイホールの施設及び諸設備の改修が必要な箇所の修繕、オーバーホールを行い、式典行事開催に備えるとともに、海づくり大会終了後も阿児アリーナを継続的かつ安全に利用できるよう、施設、施設内、敷地内の修繕改修工事の補正予算を予定しております。施設修繕料といたしまして13,350千円、足場組み立て業務委託料としまして465千円、施設内舗装工事費に66,000千円を補正計上させていただきました。その内、敷地内舗装工事につきましては、発注は単年度の1年での工事となりますが、工期の面を考慮し、予算の執行については2カ年にわたる継続費にて、令和6年度中に約6割の39,600千円、令和7年度に26,400千円と分割しております。</p> <p>続きまして、地域スポーツ推進事業といたしまして1,200千円補正計上させてい</p>

	<p>ただいております。これにつきましては、美し国三重市町対抗駅伝の大会時に選手が着用しているユニフォームが、劣化が激しく新たに作成し直したいということと、三重県内に 14 市ある内 11 市は、ユニフォームも 17 年、18 年経ってきていますので、すでに新たなユニフォームを作成しています。志摩市と他 2 つの市だけが新たな買い替えしていないという状況を踏まえて、今回新たなユニフォームの作成をしたいと思います。そして大会や練習、壮行会等で選手や監督・コーチ等が着ているチームジャージも、現在の型番が廃盤となっており、新たなチームジャージを作ることが必要となったため、1,200 千円を計上させていただきました。これにつきましては、実行委員会への委託料として増額補正をさせていただいております。併せまして生涯学習スポーツ課の歳出の合計といたしまして 81,275 千円補正計上させていただいております。よろしく願いいたします。</p>
教育長	事務局。
事務局	<p>給食統括監です。資料につきましては 4 ページをご覧ください。給食調理等業務委託料について令和 7 年度も継続して業務の一部を委託したいと考えております。令和 7 年 4 月から業務委託するにあたりまして、令和 6 年度内に入札を予定していますことから、9 月補正に 32,032 千円の債務負担を計上させていただいております。ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上です。</p>
教育長	各課から説明がありましたが、質疑がございませんか。
委員	(挙手)
教育長	委員。
委員	美し国三重市町対抗駅伝のユニフォームの新調についてですが、予備も含めましてほしい何人分のユニフォームが必要ですか。
事務局	各区分 10 区分あり、選手 20 と監督、コーチ、予備も含めて 30 着分予算の確保をさせていただいております。
教育長	他いかがでしょうか。
各委員	(質疑なし)
教育長	それでは質疑はないようですので採決に移ります。議案第 41 号について承認される方は挙手をお願いします。
各委員	(挙手)

教育長	挙手全員です。よって議案第 41 号は可決されました。
日程第 4	<b>報告第 36 号 令和 6 年度第 1 回志摩市学校給食センター運営委員会会議について</b>
教育長	日程第 4、報告第 36 号 令和 6 年度第 1 回志摩市学校給食センター運営委員会会議についてを議題とします。本案について事務局から説明を求めます。 事務局。
事務局	<p>資料につきましては、6 ページから 9 ページとなっております。運営委員会につきましては、令和 6 年 7 月 10 日午前 10 時 30 分から、志摩市学校給食センター会議室におきまして、委員 11 名の出席で開催させていただきました。令和 6 年度の委員長には浜島小学校の八橋校長先生、副委員長には東海中学校の高岸校長先生になっていただき令和 6 年度進めていくこととなります。また会議の中では、すべての事項において承認をいただきました。志摩市学校給食センターの概要では令和 4 年 9 月の業務から調理業務の一部を業務委託したことを報告させていただきました。続いて令和 5 年度学校給食費収入状況については令和 4 年 9 月から給食費が完全無償化となり令和 6 年度も無償化を継続していることを報告させていただきました。</p> <p>続きまして、異物混入発生時の公表について、令和 5 年度に 1 件の異物混入があったものの公表する事例ではなかったことを報告させていただきました。異物混入の内容につきましては、業者で混入したと思われるものが 1 件で、鶏の骨が混入していたことを報告させていただきました。</p> <p>続きまして、しまらぶ給食の日・生産者交流会については、給食に志摩市産の食材を使用することで、志摩市の良さに気づくことや、生産者への感謝の気持ちが芽生えればということで始まったことを説明させていただきました。また、令和 5 年度は G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合に合わせて、サミット給食を実施したことを説明させていただきました。令和 6 年度につきましては、市制 20 周年記念給食を予定していることを説明させていただきました。その他の項につきましては保護者の方から、</p> <p>「樋口シェフとかの料理が食べられるなんてすごい、親が行きたい、大人になってから自慢できる地元の学校給食である」、</p> <p>「おしゃれすぎて食べにくい、それでも良いと思う」、</p> <p>「大人になってから自慢できる。是非、続けていただきたい」というようなご意見をいただいております。また、「学校給食の牛乳を飲まない子どもが結構いるのではないか」というご質問をいただき、</p> <p>「牛乳はカルシウムが摂取しやすいということはよくわかるが、どこかで変えていかないと」、「毎日当たり前のように給食を食べさせていただいて、苦勞が分かりました。家では出ないようなものが給食では提供される」、</p> <p>「家では好きなものとか偏った食事になってしまうがバランスよく栄養が取れ</p>

	<p>ているので感謝している。自分は中学校の時、お弁当だった。これからも美味しい給食の提供をお願いします」、</p> <p>「3人の子どもがいるが、3人とも好きなものが違う。大変だと感じた。まして2000食だと大変だと思う。しまらぶ給食について聞きたい。これは食育のようなものが目的か。地域の食文化とかも含めてですか」、</p> <p>「志摩の食材に限らず、食の生産とか流通経路が学ぶ機会がなかった。良い取り組みだと感じた」というご意見やお話をいただきました。</p> <p>また、事務局から学校給食センターのInstagramを開設した旨の報告をさせていただきました。最後に事務局から年間2回の会議があるので、各家庭でも給食の話をしていただき、会議に話題を持ってきてくださいとお願いをさせていただきました。子どもの好きな献立など、学校給食が適切な栄養の摂取による健康の保持の指標を図るだけでなく、学校生活を豊かにし、子どもたちが給食を楽しみにしていることを改めて認識させていただきました。また、再開した学校給食の喫食につきましても、希望するPTA委員の3名がおみえになり、教育長、教育部長と共に給食を食べていただきました。以上で報告とさせていただきます。</p>
教育長	報告がありましたが、質疑はございませんか。
各委員	(質疑なし)
教育長	質疑がないようですので、報告第36号は承認されました。
日程第5	<b>報告第37号 令和6年度第1回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート調査結果</b>
教育長	続きまして日程5、報告第37号 令和6年度第1回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート調査結果を議題とします。本案について、事務局から説明を求めます。
事務局	事務局。 学校教育課です。どうぞよろしく申し上げます。報告第37号、令和6年度第1回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート調査結果につきましてご報告させていただきます。資料につきましては10ページから12ページとなります。本年度におきましても、いじめ防止対策の取り組みの1つとして、年間4回のアンケート調査の計画を立て、第1回目を5月下旬から6月上旬にかけて実施しました。本年度よりアンケート以外の認知の報告もありますので、認知の現状を資料から読み取れるように、11ページのような形式に変更させていただきました。ご理解よろしく申し上げます。 アンケート結果につきましては、( )内の数値をご覧いただければと思います。資料に示すとおり、今回のアンケート調査におけるいじめの認知件数は、小学校

で14件、中学校10件で合計24件ありました。アンケート以外からの認知もありますので、具体的な数字は、6月末時点で小学校では全19件、中学校では全15件で合計34件あります。昨年度の同時期に比べますと、昨年度は小学校が15件、中学校12件で合計27件ありましたので、小中とも数件認知件数が増加しており、引き続き積極的な認知を事務局からも発信していきたいと思っております。また、昨年度各学校の格差については課題としてご報告しました。6月末の時点で全小中学校がいじめの認知を行っており、すべての学校が積極的な認知を行っている現れでもあると捉えております。引き続き、経過を見届けていきたいと思っております。

本年度におきましても、年度初めの校長会にて教育長よりいじめ見逃しゼロの提言を基にした研修を行い、各学校によっていじめの定義の留め直しとともに、積極的な認知についての意識改革や取り組みの推進を行ってきました。何度も申し上げていますが、いじめはどの学校でも、どの児童生徒にも起こり得る問題であるとして捉えることで、いじめを見逃さないことへの意識の変化につながり、ほんの些細な事案でもいじめの定義に基づいたいじめ事案として対応することで、認知件数の増加や、過去4年間の数値を見てもわかるようにこれまで大きな変動なく、積極的な認知、そして丁寧な対応が行われているものと捉えております。地道な取り組みではございますが、こういった一つひとつを積み上げながら、これまで以上にいじめの定義やいじめ認知に対する感度を高め、いじめ見逃しゼロへの定着につなげていきたいと考えております。

今回報告された事案内容におきましては、子どもたちの生命や身体の安全が脅かされるような、いわゆる重大事態に至る恐れがあると考えられる事案はなく、資料を見ていただいてもわかるように、SNSにかかる事案、いわゆる態様⑧の事案に関わっては、ほとんどありませんでした。一部は態様①に分類されているところもありますが、今SNSが頻繁に使われている時代の中で、少しこういった状況はやはり見過ごしや、事案が埋もれてしまっていないかどうか、あるいは子どもたちが言い出せずにいないか等をしっかりと検証や振り返りをしていきたいと思っております。

また、各事案の対応におきましては、事案の大小にかかわらず、まずは子どもたちの思いを丁寧に聞き取り、被害者側の心のケアや保護者への丁寧な説明、そして加害者側への指導や保護者対応等、適切な対応を行ってきております。総合教育センターで実施する定例のいじめ・不登校対策連携会議でも、事案そのものの検証や主導指事の積極的な学校との協議、そして3か月を目安とした経過観察と報告の体制が構築できておりますので、これまで同様、しっかりと確認していききたいと思います。

また、三重県教育委員会ではいじめ認知の電子化ということで毎月いじめの認知は月末に報告されるシステムでしたが、令和6年度から、事案が起こった際に即時システムに入力するという方法に変わりました。チェック体制はこれまでも市では県に先駆けて取組をしていたのですが、県が電子化を導入したことによって県と市の二重チェック体制がこれまで以上に強化されるようになったと事務局と

	<p>しても捉えております。一部教頭先生の業務が増えているというようなところの課題もありますので、そこはまた県と連携しながら改善の方向になっていければと思います。</p> <p>最後になりますが、関係資料ということで、一部は不登校対策ともリンクしますが、令和6年度のいじめ防止対策に係る主な取り組みを記載させていただきました。令和元年度の事案から5年ほど経つのですが、これまでの新たな取り組みや、体制づくり、そして既存の取り組みへの工夫など、いろいろな活動を通していじめ防止対策等を行ってまいりました。先ほど報告させていただいた取り組みや、認知件数のことは、先日行われた志摩市いじめ問題専門委員会の場におきましても、各分野の専門委員からその取り組みへの評価とともに、さらなる充実へのご助言もいただきました。認知件数の増加、意識改革、そして学校、市教委、センターの連携等、少しずつ成果として現れてきていますが、これまで以上に組織力を強化し、子どもたちの安全安心な居場所作り、そして子どもたちにとっての魅力ある学校作りにより一層努めたいと思います。報告は以上です。</p>
教育長	報告がありましたら質疑はございませんか。
委員	(挙手)
教育長	委員。
委員	このアンケート以外でも生徒が先生に相談できる環境ができていると感じました。ありがとうございます。その中で、その他の件数ですが、具体的な内容が分かれば教えていただきたいです。
事務局	<p>その他に関しましては、小学校で1件、中学校が2件ございます。まず小学校では2年生の事案でしたが、ドッジボールをしていたところ、複数の児童が特定の児童に対して、いわゆる狙い撃ちをするという案件で、言葉でも「当ててやろうか」という発言もあったということが児童の訴えからわかってきました。実際に事情を確認し、これはいじめの事案そのものでございますので、加害児童も保護者も学校に呼んでいただき、指導とともに被害児童への謝罪も含めた対応を行いました。もちろん日常仲の良いグループでドッジボールをしていたときのことで、そういったやり取りからいじめに発展してきた事案で、現在は日常生活に戻っていますが、初期対応ということで、しっかりと対応させていただいております。</p> <p>また中学校の2件におきましては、その内の1件は加害生徒が授業の前に座席の後ろからシャーペンでつついたり、プリントを後ろに配った時にわざと強く取るといったところで被害生徒が苦痛を感じたという事案で、指導と共に対応行っております。そしてもう一件は実際のいじめ事案のそのものはなかったのですが、クラスの生徒の発言や行動が自分に対してどうも否定的に感じるというような訴</p>

	<p>えから拳げさせてもらった事案です。本人の聞き取りと、本人が伝えていただいた該当生徒に聞き取りも行いましたが、実際にそういった事実はありませんでした。ただ、被害生徒の精神状態や感じ方というのは、しっかりと生徒やクラス全体にも伝えることで、訴えを起こした生徒の安心安全というところに繋げていった事案でございます。実際にいじめ事案ではなかったのですが、被害生徒がそう感じているということで1件としては計上しております。子どもがその声を発したことということは大きな収穫であったように事務局としても捉えています。</p>
教育長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(挙手)</p>
教育長	<p>委員。</p>
委員	<p>参考資料(6)の魅力ある学校づくりに関わり、レジリエンス教育に取り組まれておりますが、子どもたちにどんな姿ができていますか。</p>
事務局	<p>レジリエンスというのは自己肯定感の涵養ということで、しなやかな心の回復を目的としたプログラムを組んでいく中で育んでいく授業でございます。県のビジョンにも自己肯定感の涵養は1番に掲げられている取り組みで、取り組み前と取り組みの後の数値の検証を県で準備していただいている状況です。まずは先生方の取組の意識というのはすごく変わったと聞かせてもらっています。授業やそういったプログラムを通じて、その必要性や生徒の表情や日常の色々な部分での感想といったところが、数字ではないですが、前向きな発言であるとか、さまざまな行動として変化があったと報告されています。実はこういった取り組みの発表は県でもモデル事業として実施させていただいている関係もありますので、またそういった集約も報告の場面がありましたらさせていただきたいと思っております。</p>
教育長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(挙手)</p>
教育長	<p>委員</p>
委員	<p>先ほどからいじめ防止の具体的な取り組みの報告をしていただきありがとうございます。要望ですが、いじめ見逃しゼロという取り組みとともにもう一方でいじめを生み出さない学校環境づくりについても引き続きよろしく願いいたします。</p>

事務局	ありがとうございます。
教育長	他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
各委員	(質疑なし)
教育長	質疑はないようですので報告第 37 号は承認されました。
日程第 6	<b>報告第 38 号 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について</b>
教育長	日程第 6、報告第 38 号 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果についてを議題とします。本案について事務局から説明を求めます。 事務局。
事務局	総合教育センターです。 報告第 38 号、令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について報告させていただきます。今年度は小学校においては国語・算数、中学校は国語・数学についての調査が行われました。4 月 18 日にこの調査を実施しております。まず資料 1 ページをご覧ください。教科全体の平均正答率について、国語、算数ともに全国を下回るという結果でした。全体的なこととしましては、2 ページから 3 ページに記載しておりますのでそちらをご覧ください。国語については「情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うこと」ができて一方、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する」「日常的に読書に親しみ読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づく」といった内容に課題がみられました。 次に算数ですが、「数量の関係を、四角を用いた式に表すこと、直方体の見取り図について理解し書くこと」、「円グラフの特徴を理解し割合を読み取る」といったことができていました。一方、「問題場面の数量の関係を捉え式に表すことができる」、「球の直径の長さで立方体の一辺の長さの関係を捉え立方体の体積の求め方を表に表すことができる」、「速さの意味について理解している」といった内容に課題が見られました。 続いて小学校児童の質問紙調査の結果を示させていただきます。4 ページから 5 ページをご覧ください。良い状況としましては、「いじめはいけない」、「人の役に立ちたい」、「友達関係に満足」といった他者との関わりや、学習の大切さを感じている児童が多くいることがわかります。一方、気になる状況としては、新聞を読む機会の少なさや、学習に対して好きと思えない状況が挙げられています。また全国と比べても一日あたりのゲームの使用時間が長い児童が多いことや ICT 機器の活用状況などにも課題がみえています。続いて学校に対する質問紙調査の結果 6 ページ 7 ページをご覧ください。概ね肯定的な回答でしたが、ICT 機器の利活用については、全国的な利活用状況と比べると少し差があるように思います。

続いて8ページから9ページをご覧ください。まとめとしまして、クロス集計などの結果も踏まえた分析を行いました。学習面では、「解答に対する意欲は、全国と比べても遜色がない」ことや、「基礎基本の力をつける」、「あきらめずに答える」という意識がみられております。課題としましては「正答数が4問から7問という児童に対して、さらなる個別最適な指導、支援を行う必要性」や「記述式問題に対する苦手意識や抵抗感」を払しょくするための手立てが必要になっています。生活面では、「就寝時刻」、「ゲーム時間の長さ」、「携帯電話やスマホに係る約束の不履行」といった内容と、「平均正答率」に関連性がみられ、家庭生活においても指導や支援が必要であることがわかります。小学校につきましては以上です。

引き続き、中学校についてです。10ページをご覧ください。全体の平均正答率は、国語、数学共に小学校と同様に全国平均より下回るという結果でした。全体的な部分としましては11ページから12ページをご覧ください。問題を観点別、内容別に分けて比較すると、国語では「話すこと・聞くこと」の観点で全国や三重県を少し上回る結果となりました。国語につきましては、「目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること」ができてつある一方、「文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること」、「行書の特徴の理解」といったところに課題がみられました。数学につきましては、「問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の計算ができる」、「二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈すること」が全国の傾向と同様にできていました。

続いて中学校生徒の質問紙調査の結果を示させていただいております。14ページから15ページをご覧ください。良い状況としては、「いじめはいけなない」「人の役に立ちたい」「協力・協同しながら学習に取り組める」生徒が多くいることがわかります。一方、気になる状況としては、小学校と同様に新聞を読む機会の少なさが挙げられます。また小学校と同様に、1日あたりのゲームや動画視聴などの時間が長い生徒が全国と比べても多いことがわかります。

続いて16ページ17ページをご覧ください。概ね肯定的な回答であります。小学校との連携が進んでいる状況が明らかになっております。一方で探求意識を持たせるような探究的、計画的な学習活動が全国と比べるとやや低い値となります。

続いて18ページから19ページをご覧ください。まとめとしましてクロス集計などの結果も踏まえた分析をしました。学習面では「主体的に学習に向かうこと」と「平均正答率」の関係性が高いことがわかりました。また課題としては、国語では「正答数が、2から4問という生徒に対してさらなる個別最適な指導、支援を行う必要性」や、数学では「解釈する、説明する、証明する」ことに対する苦手意識や抵抗感を払しょくするための手立てが必要になっています。続いて生活面では、やはり「1日あたりのゲーム時間の長さ」と「平均正答率」に関連性が見られ、小学校と同様に、家庭生活においても指導や支援が必要であることがわかっています。中学校につきましては以上です。

最後に20ページから21ページをご覧ください。小中学校全体に共通することとしまして、「知識、技能」の問題については概ねできている一方で、「思考、判断、

	<p>表現」については全国的な傾向と同様に力をつけきれていないところがあります。特に「記述する力」が弱く、改善傾向もみられるものの、依然として記述問題の無回答率が高い状況があります。「分かった・できた」という経験が主体性を高め、主体性の高まりが「分かるまでやろう、できるようになろう」という行動に変換されることを考えると、「あと1問、もう1問」を児童生徒が解けるような手立てを準備し、日々の授業改善に取り組んでいかなければいけません。引き続き個別最適な指導、支援ができるような家庭学習のあり方や、ICT 機器の利活用も含めた環境整備を進めていきます。また志摩市や各学校がこれまで大事にしてきた人権教育や仲間づくりを基盤にした取り組みにより、他者との関わりを大事にしようとする児童生徒が育ってきています。授業では、協働的な学びの機会をしっかりと提供していくことや主体的に学習に取り組んだことを認め合っている環境を引き続き作っていきます。さらに学校外でのテレビゲームやスマートフォンといった機器の活用に係る結果を踏まえ、家庭との連携を引き続き進めながら、児童生徒によって、より良い学習の環境づくりを進めていきます。今後の具体的な取り組みにつきましては以下の5点を予定しています。</p> <p>1点目は、8月23日に学力向上検討委員会が開催されますので、結果を踏まえて日々の授業をどのように行っていくと良いか、S-P表をもとに校区での協議をしていきます。</p> <p>2点目は、各校で結果の分析および今後の取り組みについて検討し、教育委員会へ提出してもらい学校間で共有します。また10月21日に開催する第3回学力向上検討委員会では、この報告書を踏まえ、取り組みの進捗状況の確認を行います。</p> <p>3点目は、9月からセンターの指導主事と相談員で、各学校の授業改善訪問事業では、学校を訪問して授業参観を行ったり、授業の在り方について協議したりし、学力向上のための取り組みや授業づくりについて重点的に学校とともに考えていきます。</p> <p>4点目は、保護者宛の周知文を作成して9月、10月の2回に分けて配布します。内容は9月には教科の調査問題についての傾向を知らせ、10月は学習状況調査の結果について知らせていきます。学力向上については家庭の協力が必要であるといった内容を含んでいくようにしたいと思います。</p> <p>5点目は、令和7年2月3日開催の第4回学力向上検討委員会で総括を委員全体で共有し、年間の授業づくりの取り組みの振り返りを行っていきます。志摩市のこの取り組みについては常に三重県教育委員会等と連携し、情報を共有したり、指導を仰いだりしながら進めていくこととしています。以上の取り組みを行って参ります。報告は以上です。</p>
教育長	報告をいただきましたが質疑はございませんか
委員 教育長	(挙手) 委員

委員	学習状況調査についてですが、生活面で小学校でも中学校でも「新聞を読んでいますか」というところの割合が低いです。ご自宅でも新聞をとってない家庭が多い中で、これを改善する為にはどうしたらいいのでしょうか。子どもたちに新聞に親しんでもらう環境は学校にあるのでしょうか。
事務局	一時期、新聞を学校教育に取り上げてということに力が入った時期もありましたが、今現在、志摩市ではそのような取り組みには至っておりません。
委員	学校の中で新聞作りを取り入れて、新聞に親しんでいくような取り組みをされたり、タウンウォッチング等で、みんなに知らせたり状況を新聞の形でまとめるというような手立てを学校でやっていただいているのを聞いてはいます。ただ、先ほど委員が言われたような直接新聞に親しむというようなところについて、新聞を取っていないご家庭もたくさんいるというような状況の中で、新聞に親しめるような形をとっていくために、何か一層の工夫が必要かと思しますので、そういった面でもまた具体的に考えていただけたらありがたいと思います。よろしくお願いします。
教育長	よろしいでしょうか。
事務局	家庭での新聞の取り組みについても、電話が固定電話から携帯電話に変わるという状況と同じように日々変化していく中で、なかなか共有しきれない部分が学校現場ではあるかと思えます。ただ、読書の部分で昨年度の本の貸出数が少ないという現状から、活字を読む力が機会も含めてないということは、色々な結果にも直結していくところがあるかと思えます。授業の中でもそういった活字に触れる機会を多く取り入れることは学校現場でもできることかなと思しますので、時代に沿った取り組みというのは必要かなと思っています。
教育長	よろしいですか。
委員	新聞は色々な記事が載っていて、子ども新聞だと子どもが理解できるような取り組み方をしてくれると思います。子どもからの相談やいろいろな意見も載っていましたので、子ども自身の生活の参考になったりすると思います。
教育長	新聞を読むのは、地域や社会を知るための機会でもあり同時に、読解力をつけるという大事な場面です。委員からもありましたように、新聞が手元にある子どもたちがどれだけいるのか。また、色々な情報を取得するツールが新聞以外のものになりつつあるという現状もあります。読解力をつけていくことについては誰も否定するものではありませんし、それをやっていかないといけないことは確かなことです。これはすべての教科においての課題だと思います。何か提示されたものを読みこなして、それから意味を取るとするのは、どの教科においても必要な

	<p>ことですので、大事な指摘として受け止めていきたいと思います。他いかがでしょうか。</p>
委員	(挙手)
教育長	委員。
委員	<p>綿密に調査分析していただいて、様々な課題も出していただいております、またそれに対する取り組みも提示していただいておりますが、同じような傾向が出ていますので、具体的にポイントを絞ってこういう取り組みをした結果、こういうような結果が出てきましたということや、こういうことが向上されてきましたというような、具体的な取り組みの成果に対する結果というような部分も併せて出させていただくと、学力向上に向けてよりよくわかります。提言していただいた部分に対する取り組み、そしてその結果、それでこういうような所が見られたというようなところまで、本当に大変だと思いますが、もう少し踏み込んでいただくと非常にありがたいのではないかなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
教育長	意見ということでよろしいでしょうか。
委員	はい。
事務局	他よろしいでしょうか？
各委員	(質疑なし)
教育長	ないようですので、報告第 38 号は承認されました。
日程第 7	<b>その他協議・報告案件について</b>
教育長	<p>それでは、日程第 7 その他協議・報告案件についてを議題とします。まず、①各課からの行事予定の報告を求めます。</p> <p>質疑は各課の報告すべて終わった後、一括して行いますのでご了承ください。</p>
教育長	事務局。
事務局	<p>教育総務課・学校給食センターの行事予定の報告ですが、8月22日の木曜日19時から浜島小学校中学校のあり方検討会を浜島生涯学習センターで予定しております。9月12日の木曜日ですが、船越味噌と海産物を食材にしました、しまらぶ給食を各小中学校で予定しております。9月20日金曜日10時から第9回の教育委員会を404会議室で予定しておりますのでよろしくお願いします。</p>

	以上です。
教育長	事務局。
事務局	学校教育課の行事予定について説明します。8月22日木曜日に鳥羽志摩陸上大会が三重交通グループスポーツの杜伊勢第二陸上競技場にて実施されます。また24日土曜日の10時30分から阿児アリーナベイホールにて文岡中学校、東海中学校、磯部中学校の三校吹奏楽部合同サマーコンサート2024が開催されます。8月の28、29日は教職員の健康診断があります。9月に入り、7日土曜日に中学生海外派遣事業の学習会、11日水曜日の18時45分から志摩市海外派遣事業成果報告会が志摩市役所の4階会議室にて開催されます。以上となります。
教育長	事務局。
事務局	8月23日金曜10時から授業作り研修を総合教育センターで行います。8月26日月曜日の13時30分から総合教育センターにおいて教員ICT活用地域支援研修を県の連携講座として行います。8月29日木曜日13時30分から消防本部で養護教諭と研修を県の連携講座として行います。米印の8月20日と書いてあるところですが、今まさに防災研修をオンラインの方でやっておりますが、急遽開催決定したため前回報告できておりませんでしたので、今日ここに報告させていただきます。以上です。
教育長	事務局。
事務局	最初2か所訂正をお願いいたします。8月22日は志島・畔名古墳群検討委員会ではなく、第一回国指定重要無形民俗文化財「安乗の人形芝居」舞台改修事業指導委員会を開催いたします。文化庁補助金をもらっての舞台改修事業となり、第1回目は舞台の耐震補強方針についての協議となります。9月5日は安乗の人形芝居の指導委員会ではなく、第2回志島・畔名古墳群検討委員会を開催します。こちらは第2回目の会議となり、古墳群の形状について歴史的価値も含めた協議を行います。9月8日はポーランドで開催されます、2024世界相撲選手権大会に市職員で教育委員会所属の竹内宏晟君が出演します。昨日応援横断幕を作成し、鵜方駅前に設置しました。9月8日Vリーグ岡山シーガルズバレーボール教室を阿児アリーナにて開催します。今年で20回目の開催となり、市内の小中学生を対象に教室を開催します。9月14日、15日は安乗人形芝居の令和6年安乗神社秋季例大祭公演が安乗人形舞台でございます。9月17日は、波切のわらじ曳き神事が波切神社および須場の浜で開催されます。以上、報告となります。
教育長	各課からの報告すべて終わりましたので、一括して質問を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員	(質疑なし)
教育長	質疑はないようですので、次へ進めます。②その他については以下報告等ございますか。
各委員	(報告なし)
教育長	<p>ないようですので、その他協議で報告案件についてを閉じさせていただきたいと思えます。</p> <p>以上で本日の日程はすべて終了いたしました。次回定例教育委員会は令和6年9月20日金曜日午前10時から404会議室で行います。会議場所が違いますのでお間違えてないようにお願いします。</p> <p>では令和6年第8回定例教育委員会を閉会とします。どうもありがとうございました。</p> <p>本日の会議を記録し、署名する。</p> <p style="text-align: center;">教 育 長</p> <p style="text-align: center;">委 員</p>